

# 取扱・注意事項

## 「ご使用前に」

刃物を使っていると次第に切れなくなります。結果として切るのに手間と時間がかかります。

何が起きているかというと裸眼では見えない刃先の細かい歯が曲っているのです。この曲がった歯を元のように揃え、薄く鋭い刃先を回復させるのがシャープニングスティールの役目です。

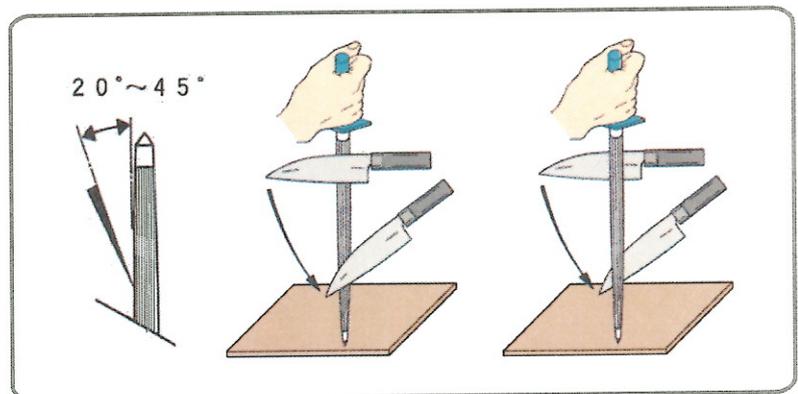
## 「ご使用上の注意」

- ① 本製品をナイフ・包丁の刃先の研磨以外には使用しないでください。  
ボールや玩具の代わりに使うと折れたり刺さったりして危険ですのでお止めください。
- ② お子様だけの使用はお止めください。
- ③ 本製品を火であぶらないでください。硬度が下がり機能を失う場合がございます。  
また、水につけたままにしないでください。
- ④ 本製品使用後も切れ味の改善がみられない場合は、砥石で研ぐか、ダイヤモンドスティール棒を使うか、研ぎの専門店に相談してください。
- ⑤ 使用後の保管については、錆が発生しないよう清潔にして保管するよう心掛けてください。  
また落下等が原因で怪我をしないよう充分ご注意ください。
- ⑥ プラスチック部が変形したり破損して使えなくなった場合は、新しい商品に買い換えてください。

## 使用方法

### 「その一」

- ① スティールを手でしっかり持ち、まな板等の平らなものの上に立てる。
- ② 刃物の柄に近い方をスティールのツバの直下にセットし、 $20^\circ$ 位の角度で中くらいの力で上から下へ弧を描くように引く。  
(うまく刃先が修正出来ない場合は $5^\circ$ 位づつ $45^\circ$ 位まで角度をつけて行う)
- ③ この作業を4～5回左右の刃先に対して交互に行う。



### 「その二」

- ① 手にスティールを持ち、刃物の根元をスティールの先端にセットする。
- ② 始めは $20^\circ$ 位の角度で刃物の根元から先端まで弧を描くようにスティールの上を軽く滑らせながら引く。(うまく刃先の修正が出来ない場合は $5^\circ$ 位づつ $45^\circ$ 位まで角度をつけて行う)
- ③ この作業を4～5回左右の刃先に対して交互に行う。

